

WEBアンケートを用いた福山都市圏居住者TFPの効果と課題

阿部 正太郎、吉岡 正樹、欧彦 (株式会社建設技術研究所)
片岡宏仁、山根直棋 (国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所)

- 目的**
- 福山都市圏で継続的に実施している**ベスト運動***の取組内容や、自動車利用抑制（公共交通利用）のメリットなどについて情報を提供し、ベスト運動への参加促進、認知度向上等を図る
 - 被験者への**情報提供の有無等を差別化し、事前・事後と2回のアンケート調査を実施することで、自動車利用頻度や意識、ベスト運動の参加状況等の差異を把握する**

実施方法

調査方法	Webアンケート方式（事前・事後のパネル調査）
調査対象	福山都市圏（福山市、尾道市、笠岡市、井原市、府中市）の居住者かつ自動車を用いて1回以上利用する方（自分で運転する方）
サンプル	事前 1,198名 事後 665名（事前の55.5%）
調査期間	事前 2018年12月6日（木）～12月12日（水） 事後 2018年12月28日（金）～2019年1月7日（月）
回答群	<p>制御群 自動車利用を抑えることのアドバイスを提供しない回答者</p> <p>アドバイス群 自動車利用を抑えることのアドバイスを提供する回答者</p> <p>行動プラン要請群 自動車利用を抑えることのアドバイスに加え、実際に自動車を控えた移動を考えてもらう回答者</p> <p>※回答者はランダムに各回答群に割り振った。</p>

情報提供内容



行動プランに関する設問

- 自動車でも多く訪問する目的地までの移動を公共交通での移動に変更するプランを考えてください。その場合の次の項目を記入してください。
※バス停名・駅名がわからない場合は検索して記入してください。
【鉄道・軌道】 乗車・降車駅()
【バス】 乗車・降車バス停()
【出発時刻】 ()時には出発する
- 自動車でも多く訪問する目的地までの移動を公共交通での移動に変更するプランを考えてください。その場合の次の項目を記入してください。
1. いつもと同じ時間に出発する
2. いつもよりも早い時間に出発する必要がある
3. いつもよりも遅い時間に出発できる
- 自動車でも多く訪問する目的地までの移動を公共交通での移動に変更できそうですか。
1. このプランに変更できる
2. このプランへの変更は無理ではないが難しい
3. このプランへの変更は無理

福山都市圏



ベスト (best) 運動とは？

bingo environmentally sustainable transport

ベスト運動って何？

福山都市圏の渋滞緩和を目的に、地域のみならず「備後”発”」の取り組み

なにをすればいいの？

月に1回、自由な方法で、エコ通勤
たとえば… 時差出勤、公共交通機関の利用、自転車や徒歩、相乗り など

さあ、あなたも始めよう！

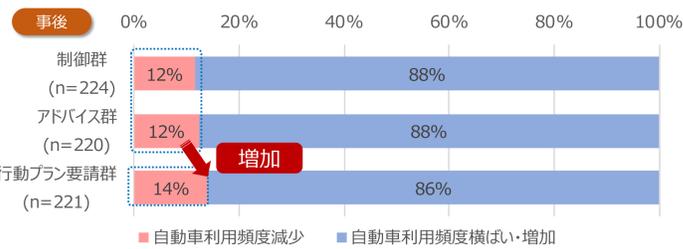
- 月に1回自由な方法でエコ通勤
- 委員会からの報告依頼メールを受信、インターネットでカンタン報告
- 協賛企業からのプレゼントもあり



※出典：福山都市圏交通円滑化総合計画 ベスト運動公式サイト (http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/enkatsu/index.html)

自動車の利用頻度の変化

積極的なコミュニケーションを実施した回答群（行動プラン要請群）は他の属性に比べ、事前から事後にかけて1週間の「**自動車利用頻度減少**」の割合が大きい



※以下の順に利用頻度が高いと仮定し、事前から事後にかけて頻度が小さくなっていく場合は「利用頻度減少」、そうでなければ「横ばい・増加」とした
【利用頻度大】 週に4～7日程度利用した > 週に1～3日程度利用した > 3週間に数日利用した > 利用しなかった
【利用頻度小】 週に4～7日程度利用した > 週に1～3日程度利用した > 3週間に数日利用した > 利用しなかった

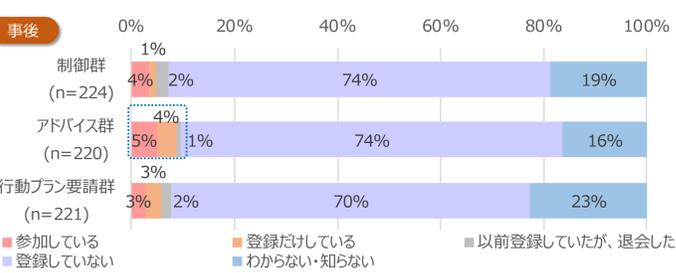
自動車利用の意識

- 利用意識は事前調査において、**アドバイス群の「控える気はある」割合が最も大きい**
- 事後調査においても**アドバイス群の「自動車を控えた」割合が最も大きい**
- 制御群の1割強は自動車を控える意識がある**



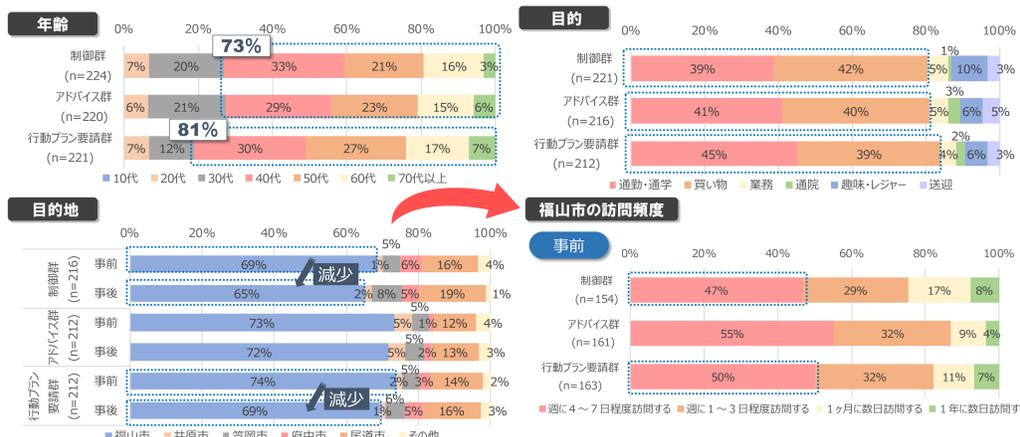
ベスト運動の参加状況

- ベスト運動への参加・登録状況については、**アドバイス群が他の属性に比べやや高い**
- 制御群にもベスト運動参加者が一定存在しており、自動車利用を抑える意識が伺える**



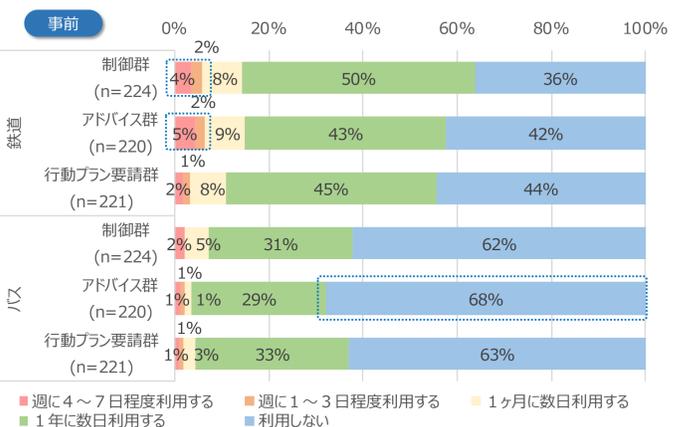
自動車利用状況

- 行動プラン要請群は他の属性に比べ**40代以上の回答者割合が大きい**
- 目的はどの属性も「**通勤・通学**」と「**買い物**」が全体の約8割を占める
- 制御群と行動プラン群は、**福山市への移動が減少**している（週に4～7日訪問する割合が全体の50%以下であり、調査期間中の福山市へのトリップ頻度が少なかったと考えられる）



鉄道・路線バスの利用状況

- 制御群とアドバイス群に日常的な鉄道利用者が一定存在している
- バスの利用頻度はどの回答群も低い、アドバイス群で「利用しない」割合が高い



まとめ

- 都市圏居住者を対象としたweb形式のTFPアンケートを実施
- 実際に自動車を控えた行動をイメージさせる行動プラン要請により、自動車利用頻度が他の回答群より減少する傾向を確認
- 自動車を控える意識は、自動車から公共交通への転換を促進させる情報（環境悪化や健康面での悪化等）のみ提示したアドバイス群で自動車を控える意識が高い傾向を確認
- 制御群においてもベスト運動への参加者や、鉄道利用者が一定存在しており、1割強は自動車を控える意識のある回答者が存在

課題

- 行動変容を促す効果的なWEBでの情報提供手法の検討が必要